

2023 年度 駿河学院専門学校
自己点検及び学校関係者評価 報告書

評価：適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

1. 教育理念・目標

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4			4	教育理念は難しい。価値観も変化している。ヨーロッパの教育の考え方も参考になってきている。
教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	4			4	
教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	4			4	
教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか	3	新型コロナウイルス感染症対策による影響なのか、微熱等でも学校を欠席する生徒が増えている。出欠に対する意識も生徒に限らず、保護者の考え方も変わってきているように感じる。	専修学校として実際生活に必要なもの、日々の継続した学習や活動に関する考え方について、生徒に限らず、保護者等にも繰り返し話をしていく必要がある。一方で価値観が多様化する時代でもあり、柔軟な対応もしていく必要がある。	4	

2. 教育活動

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
カリキュラムは教育目標が反映されているか	4			4	(質問) 英検、情報検定、プレゼンテーションの検定内容について
定期的なカリキュラムの見直しが行なわれているか	4		2024年度生より全学年新カリキュラムになる。	4	
テキストや教材は適切なものを選定しているか	3	新たに追加する学習教材の作成が遅れている。教材を作成する時間を確保する必要がある。 既に使用している教材についても見直しや改善をしていく必要がある。	夏休み等を活用し、教材の作成や見直し等を行う時間を確保する。	3	
授業の点検・評価が適切に実施されているか	4			4	
資格試験の合格率は	3	選択制の授業を導入したことにより、生徒自らが興味のある資格にチャレンジできる環境になったが、若干名ではあるが消極的な選択をしている生徒もいる。	現在ある選択科目を新たに増やしていくことも必要になる。また、実行するための人材の確保も積極的に行っていく。	3	
資格試験不合格者の対策は	3	合格率の項目とも関連するが、不合格者については、意欲があっても不合格になっている生徒と、意欲の感じられない生徒とそれぞれいる。	意欲があっても不合格になっている生徒について、授業内容の再確認を行い、改善すべきところは改善していく。意欲が感じられない生徒については、選択の幅を持たせられるように選択科目を増やす等の改善が必要になる。	3	
評価は適切な方法で行われているか	4			4	
目標に到達しない生徒に対し適切なフォローが行なわれているか	3	様々な事情で通常に登校して学習することが困難な生徒が目立つようになった。保護者を含めた話し合いの場を設けても連絡もない家庭が増えた。	早い段階で本人、保護者との話し合いの場を設けるとともに様々な学習方法を提案し、将来につなげられるようにする。	3	
進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4			4	

3. 生徒受入

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
生徒募集のための資料の表現・内容並びに募集活動の方法・時期は適切か	3	近年、受験の時期に中学校2年生からの学校見学、資料請求等の問合せが増えてきている。 生徒募集活動は新年度になってから活動をしており、中学生が活動する時期に変化がみられる。	中学校2年生への活動時期を早める必要がある。 入学案内等、志願者が必要とする資料等の準備を前倒しする。	3	「学校に行かなくても…」という考え方が出てきている。気づいた。 人とのコミュニケーションがとれないのは問題ではないか。悪循環を感じるが増えた。 (質問) フリースクール的な支援が必要な時代なのではないか
入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	3	多くの私立学校が Web 出願を取り入れており、志願者の思い込みも含め、すべての学校が Web 出願だと勘違いされることがあった。	2025年度生より Web 出願対応にする。	3	
募集要項の内容は適切か	4			4	
学校見学会の時期、内容は適切か	3	近年、中学校2年生の学校見学者が増えてきている。	中学校3年生に限らず、学校見学会等の情報をホームページや中学校に周知していく。	3	
入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4	通信制高校等、入学者選抜の時期が県内の私立及び公立高校とは全く異なる時期に行われていることもあり、本校の受験について誤った認識をされる中学校の保護者がいた。 学校見学に参加された方には正しい情報を伝えることができるが、そうでない方もいるため、誤った情報のまま認識している方がいるという問題がある。	入学案内やホームページ等で確認した方は正しい情報で認識することができるが、周囲の情報だけで判断されている方のために、中学校にも受験者等からの情報を伝えるなど、誤った情報で受験者に伝わることをないようにする。	4	
志願者状況、定員充足率はどうか	3	志願者については、大きな落ち込みは見られていないが、併願受験者の数が急増した。	周囲の受験に関わる様々な変化があるが、本校だからできる教育内容を取り入れ、学校としての魅力を高めていく。	3	
中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	4			4	

4. 教職員組織

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
専任教員は設置基準を満たしているか	4			4	今いる職員を大切にしなければならないのではないか。 外部の指導者等の活用も必要なのではないか。
専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	4			4	
教職員の業務分掌は明確になっているか	4			4	
教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4			4	
教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	4			4	
職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	4			4	

5. 施設・設備等

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
教室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4			4	特になし
実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4			4	
実習設備は整備されているか	4			4	
教室・実習室の管理は適切に行われているか	4			4	
生徒が自学自習できる教室を有しているか	3	様々な事情により個別に学習を希望する生徒が増えている。自学自習ができる教室は確保しているが、生徒の実状を考慮すると、自学自習できる環境を増やす必要がある。	学校前の道路計画もあり、大幅な改善はできないが、現在ある環境で自学自習できる教室を確保していく。	4	
保健室は適切に整備されているか	4			4	
教育用機器備品は整備されており活用されているか	4			4	
職員室の管理は適切に行われているか	4			4	
事務室の管理は適切に行われているか	3	事務の使用するゴミ箱に生徒名や保護者名の記載された封筒や文書が入れられていた。ゴミ回収時に確認をするため、そのまま捨てられることはないものの、書類等の扱いが徹底されていない。	書類の扱いについて教員だけでなく、事務側にも共通認識を持たせる。引続き、ごみ回収時の確認を徹底を行う。	4	

6. 生徒生活支援

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
生徒と相談する体制が整備・機能しているか	3	生徒側からの相談については、随時対応できる状況にあるが、教員側から生徒に相談する際、生徒が忘れてしまっているケースが多く見られた。	それぞれの生徒の特性を理解し、声をかけるタイミングや回数等を工夫する。	3	全員と行う生徒との相談は教室に掲示してしまった方が良いのではないか。
各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	4			4	
防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	3	学校に定期的に入出入りする業者で、学校に断りもなく、勝手に侵入しており、職員が声をかけることがあった。	出入りする業者に入校許可の徹底を行う。担当者が変わった際の引継ぎの徹底も依頼する。	3	
進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4			4	

7. 管理・運営

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	学校関係者評価委員の意見	
消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4	消防計画、学校安全計画等は定期的に見直しを行い整備されているが、能登半島地震もあり、帰宅困難者についての対応について再検討を行った。	帰宅困難者については、最低でも3日間に対応できるように整備する。	4	評価項目セクシャルハラスメントになっているが、ハラスメントにした方が良いのではないか。
個人情報保護法を遵守しているか	4			4	
セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4			4	

以上、本校の教育研究活動等の学校関係者委員会の意見として報告します。